

平成25年度 当初予算審査 特別委員会

特別委員長
角谷 勉



総務課

岩原民宿街の 契約貸付は

問 岩原の三者契約問題が解決して、直接貸付できる形ができた。その中で岩原民宿街等も契約貸付の中に入っているということだが、その金額はどうか。

答 岩原民宿街で約740万円、スキー場関係で2644万円、岩原の下の駐車場で1000万円、その他の貸付関係で1100万円ほどというようにな割り振りになっている。

湯沢高原の消耗品費 や修繕料の内容は

問 湯沢高原の関係で、消耗品費や修繕料で予算を約1000万円組んでいる。この内容についてを聞きたい。

答 消耗品費は、花、球根関係で564万円、雪囲いの材料費で130万円を予定している。修繕費は、ボブスレーのレーンの継ぎ目の段差修繕のための材料、木道修繕、

ガレバハウスの受水槽の修繕、その他不測の修繕分として計上した。

緊急告知ラジオの 配布は

問 緊急告知ラジオはどのような形で配布するのか。また誰が対象か。

答 消耗品で6000台購入する予定だ。配布先は町内会の部分が一番多いが、町内の班長分くらいは配分したい。あとはマンション58棟と消防団の班長以上に1000台くらい配分する。できれば、平成26年度までに全家庭に配布したい。

ノリタ跡地の 除染事業は

問 ノリタ跡地の土壤汚染除染事業に多額の予算を計上している。どのような根拠でこの予算額が出してきたのか。また、どのような方法で除染作業を行うのか。

答 平成18年に、汚染状況の調査をみらい建設工業に依頼した。その結果を大手ゼネコン2社に見てもらい、処理経費の概

算について相談した結果、4億円プラス消費税となった。除染方法については、プロポーザル方式を考えている。業者ごとに得意な除染方法がある。現地で中和剤をまぜて処理する方法と、土壤を他に運び出す方法がある。

金額だけを決めて、どういった方法になるかは事業者が提案したもので考えていく。

問 中子町有地除染は、4億5000万円の単年度で完全に達成されるのか。それとも部分的なもので、今後も継続されるものなのか。

答 11メーター四方の中で、その土地がどのような状況であるかと調査したのが、平成18年の調査だ。あそここの土壤全部を運び出さない限り、100%ということはない。ただし、県との話の中では、この調査に基づいて汚染されている部分を除去すれば良いということになっている。

布場スキー場用地 返還の予算は

問 資料に布場スキー場用地返還等とあるが、これは予算化されていないのか。そうであれば予算化の方向について伺いたい。

答 3月18日に布場土地組合の臨時総会を開いていただき、そこで話をするが、返還補償料を支払って一回整理し、そこから出直す方向が望ましいと考えている。その結果は、3月21日の全員協議会で報告する。

町民課

問 戸籍副本データ管理システム構築について、東日本大震災の後、自治体によっては独自にデータを遠隔地へ退避する動きがあった。国の方で副本を一括で管理するという動きからこうなったのか。

答 戸籍はそもそも基本的に国の事務だ。国のシステム構築が原因で、システム改修にかかる負担

が町に強いられるが、戸籍消失の危険をなくす趣旨には賛同できる。町側の改修の部分は町が負担し、その他の部分は国から提供される。

環境基本計画の 運用は

問 環境衛生一般管理費の関係で、環境基本計画を策定して、環境審議会委員報酬が予算計上されている。現在の環境基本計画の運用の実態を聞きたい。

答 計画は策定して1年だ。計画に町内会議という組織があるが、その中で自分たちの1年間の事業を振り返って、いま検証作業をやっている。また、その結果を環境審議会の委員に報告するまでの作業をしているところだ。

地域整備課

問 国の大型補正予算により、平成25年度当初予定していた4億8000万円くらいの事業が、24年度に3億1000万円